

治山事業におけるビデオテレビの活用について

岐阜営林署 佐藤 義光
山下 誠

1. はじめに

最近ビデオテレビが企業や学校、家庭まで幅広く浸透している。ビデオテレビの大きな特徴として、撮影したものを直ちに映像できるスピード性と、全体の流れがわかる連続性を持つことにより、情報伝達、教育研修、作業進行管理、分析等多面的に活用されている。そこで今回57年度に当署の治山事業で活用を試みたところ、自主施工管理の促進を始めとして、地域社会への啓蒙等、その効果は多大であったのでその概要についてビデオテレビにより報告する。

2. 目的

ビデオテレビの活用を図ることにより治山事業を円滑に進め、適切な治山事業を行うことを目的としている。

3. ビデオテレビの活用内容

(1) 請負工事における自主施工管理について

治山事業の請負工事において、請負者が、自主的に施工管理するものであるが更にビデオテレビにより自主施工の促進を図ってみた。

施工管理のポイントについて請負者が撮影し、必要により監督員に報告することで監督員は机上で施工管理状況が把握できる。

ア 起工測量

施工前の現地状況及び設計図と現地とを照合するため実施する起工測量の内容について確認できた。

イ 床掘作業

(ア) 床掘方法、排土処理状況等の作業状況、安全管理状況、仮締切方法等の状況について確認できた。

(イ) 土質変更に伴う設計変更事項の届出があり、机上で検討できた。

ウ 床掘完成状況

現地で、床掘検査を実施するが、ビデオでも、床掘の長さ、巾、土質、地盤処理状況等が判明できた。問題点があれば、検討して床掘検査前に現地を修正する。

エ 型 枠 組 立

型枠の長さ、巾、勾配等について設計方法との関係が確認できた。

オ コンクリート品質管理

コンクリートは所定の品質であるかどうか、スランプ、空気量等について、品質管理状況が確認できた。

カ コンクリート打設

バイブレータによる締固め状況等が、仕様書どおりの正しい作業であることが確認できた。

キ レイタンス除去

新旧コンクリートの接着を阻害するレイタンスの除去作業方法が適正であることが確認される。

ク 養 生

打設したコンクリートは必要な強度を得るため適正な養生を行っていることが確認できた。

ケ 不明視部分

施工後埋戻し等により不明視となる部分は、出来型をペンキで明示し、証拠写真を撮影するがビデオの活用により全体と部分の関係がより明確に把握できた。

(2) 地域社会における治山事業の啓蒙

治山教室の開催

「治山工事の概要」を作成し視聴覚教材として活用し治山事業の大切さを理解させるのに役立った。

(3) 各研修会議で教材や資料として活用

「工事担当者打合せ」及び「県、町村、との治山事業打合せ会議」において、「治山工事状況」及び「治山事業所概要」を作成し会議資料として効果をあげた。

(4) 調査研究等の現地映写検討

実施計画に際し設計前後に現地の見直しを担当者全員で行い、適切な設計の推進に効果が大きかった。

(5) 災害発生報告等

災害発生状況の概要が把握でき、迅速に対策を講じることができた。……（不可抗力による損害報告、山地崩壊地発生状況）

4. ま と め

(1) 治山事業の自主施工の促進、PR、研修及び調査設計に多大の効果があつた。

(2) 撮影技術、編集方法に熟練を要する問題があるが習熟すればかなり内容の充実したビデオが作成できると考える。

(3) 今後の方向として、ビデオテレビの多面的機能を治山事業の推進に更に活用することが可能と考える。